

# 施策分析シート（平成29年度）

No1

<b>施策名</b>	交通環境の整備	<b>施策No</b>	12-03	<b>部課名</b>	防災都市づくり部都市計画課		
		<b>課長名</b>	松崎	<b>内線</b>	2860		
<b>関連部課名</b>	防災都市づくり部施設管理課						
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	安全安心都市					
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	12	利便性の高い都市基盤の整備				
<b>目的</b>	公共交通機関の充実を図るとともに、交通不便地域における高齢者や障がい者の移動の利便性向上を推進する。また、放置自転車をなくして安全で安心して通行できる道路環境を整備することに加え、環境に配慮した駅前空間を創出する。						
<b>指</b>	<b>幸福実感指標名</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>		
		26年度	27年度	28年度			
	交通利便性	3.84	3.91	3.88	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？		
	生活環境の充実	3.13	3.19	3.22	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
<b>標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)
	コミュニティバスの乗車人員 (人/日)	3,367	3,448	3,445	3,700	4,600	一日あたり
	放置自転車台数(台)	840	795	750	730	650	放置台数 (午後の定点観測値)
	駐輪可能台数(台) 民間駐輪場含む	10,507	10,706	10,800	10,800	11,000	
自転車置場・自転車駐車場定期 登録者数(人)	7,298	7,065	7,350	7,400	7,800		

(単位：千円)

<b>行政コスト計算書</b>	<b>勘定科目</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>差額</b>	<b>勘定科目</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>差額</b>
	給与関係費		79,974		地方税等		0	
	物件費		129,585		国庫支出金		0	
	維持補修費		27		都支出金		0	
	扶助費		0		分担金及び負担金		0	
	補助費等		1,085		使用料及び手数料		23,073	
	減価償却費		86,363		その他		9,369	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		32,442	
	賞与・退職給与引当金繰入額		3,725		行政収支差額(a)-(b)=(c)		271,351	
	その他行政費用		3,034		金融収支差額(d)		666	
行政費用合計(b)		303,793		通常収支差額(c)+(d)=(e)		272,017		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		272,017		
<b>貸借対照表</b>	<b>勘定科目</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>差額</b>	<b>勘定科目</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>差額</b>
	流動資産				流動負債		15,739	
	収入未済		0		還付未済金		0	
	不納欠損引当金		0		特別区債		6,624	
	その他の流動資産		0		賞与引当金		3,725	
	有形固定資産		2,312,300		その他の流動負債		5,390	
	土地		672,551		固定負債		103,548	
	建物		507,247		特別区債		27,647	
	建物減価償却累計額		282,820		退職給与引当金		59,731	
	工作物等		3,175,056		その他の固定負債		16,170	
	工作物等減価償却累計額		635,033		負債の部合計		119,287	
	無形固定資産		0		正味財産		2,220,672	
	建設仮勘定		0		正味財産の部合計		2,220,672	
その他の固定資産		27,659		負債及び正味財産の部合計		2,339,959		
資産の部合計		2,339,959						

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区民の身近な足として導入したコミュニティバスは、「さくら」の導入以降、新たに「汐入さくら」「町屋さくら」も運行を開始し、1日平均乗車人員は増加傾向にあり、利用者からの評判も良好である。平成24年度：2,963人、平成28年度：3,445人</p> <p>区では、これまでに4か所の自転車等駐車場、11か所の自転車置場を整備し、約7,000台の定期利用及び約1,000台の一時利用が可能となっている。</p> <p>南千住駅前や町屋駅前では、民間駐輪場の整備が進み、いずれも収容可能台数は区営自転車駐車場の規模に匹敵する1,000台以上となっている。</p> <p>ピーク時には駅周辺を中心に6,000台/日以上あった区内の放置自転車は800台/日以下にまで減少している。</p> <p>物件費が行政コストの4割を占めており、その内容は放置自転車撤去事業や自転車置場・自転車駐車場管理運営事業に係る経費となっている。</p>
課題	<p>コミュニティバス未導入地域で交通経路が不足している地域におけるアクセス改善を図る必要がある。</p> <p>コミュニティバス全体の利用者が増加傾向にある一方、恒常的に利用者の少ない路線については、区民の利便性の向上等を踏まえ、ルートの見直しを図る必要がある。</p> <p>放置自転車数は大幅に減少しているものの、駐輪場の確保台数や駅と駐輪場の距離など、地域によって対応すべき課題が多様化している。</p> <p>今後、再開発が予定されている地区においては、適切な駐輪スペースを確保する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>コミュニティバス未導入地域への新規路線導入に向け、運行事業者とともに検討していく。</p> <p>コミュニティバス利用者の多様なニーズ等を的確に捉え、運行事業者と連携して更なるサービス向上を目指し、利用者の増加を図る。</p> <p>地域ごとに異なる課題等を的確に捉えたうえで、それぞれの状況に応じた放置自転車対策を進めていく。</p> <p>駅前再開発事業に当たっては、大型自転車駐輪場の整備を進めるとともに、民間事業者参入の活性化につながるようなインセンティブを検討する。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	交通機関の充実や交通不便地域における利便性の向上、及び快適な道路環境の整備を推進していく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のため の分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
日暮里駅総合改善事業	11-01-17			継続	継続	日暮里駅整備(株)の適切な運営に関する調整を行う。
コミュニティバスの利用促進	11-01-18	0	2,527	重点的に推進	重点的に推進	未導入地域への運行の検討や利用者への更なるサービス向上により、より良いコミュニティバスを目指す必要がある。
放置自転車撤去	11-03-14	92,696	94,236	重点的に推進	重点的に推進	放置自転車対策を、今後も積極的に推進する。
自転車置場・自転車駐車場管理運営	11-03-15	46,610	43,809	推進	推進	放置自転車対策を重点的に行う地域について、自転車を駐車するための施設を整備し、区と指定管理者それぞれにおいて、効率的・効果的な管理運営を行う。
自転車総合計画策定事業	11-03-16		2,689	重点的に推進	重点的に推進	放置自転車対策を次の段階へと進める道筋を示すためにも、必要不可欠な取り組みである。
合計		139,306	143,261			